

## 4月12日：不動産株は上昇も指数は横ばい

ベトナム株は水曜日に横ばいの動きとなった。不動産株を中心とした上昇が相場を下落を和らげた動きとなった。

ホーチミン取引所のVN指数は0.01ポイント安の1,069.45ポイントで取引を終えた。

火曜日には不動産株への買いが入ったことで4ポイントほど上昇していた。

騰落別でもまちまちとなっているが、流動性は改善した。出来高は7.26億株で売買代金は12.65兆ドンだった。

VN30指数は1.02ポイント(0.09%)安の1,080.69ポイントで取引を終えた。13銘柄が上昇し、14銘柄が下落していた。

サイゴンビール(SAB)、VPバンク(VPB)、ビンググループ(VIC)といった銘柄が主な下落上昇銘柄だった。

その他、ベトジェット航空(VJC)、SSI証券(SSI)、ビンコムリテール(VRE)なども下落した。

銀行、不動産株の上昇以外ではマサングループ(MSN)が2%上昇し相場を支えた。

ノブランドグループ(NVL)は6%高、カンディエンハウス(KDH)は4.74%高、ファットダット不動産も4.81%上昇した。その他中型の不動産株も上昇していた。

サイゴンハノイ証券のアナリストによると、中長期的な見通しは変わっておらず、昨年11月に付けた底からの反発中である。しかし、現在の反発は徐々に小さくなり根固めに移っていきだろう。

しかし、インフレや地政学的な問題が複雑化しており、世界経済の先行きが不透明であるため、マクロ経済の行方もわからなくなっている。

同社は、今後の大きな上昇に向けての根固めの展開が続くだろうと予想している。

短期的な投資家には、調整した場面での買いを勧めている。同社はVN指数が1,150ポイントに向けて上昇すると予想している。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.4 ポイント (0.19%) 安の 211.94 ポイントで取引を終えた。

出来高は 9,660 万株で売買代金は 1.3 兆ドンだった。

外国人投資家は売り越し、両市場合わせて 3,420 億ドンを売り越した。

---

### ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。